

「小さな拠点づくり」モデル地区 進捗状況シート(令和3年度)

◆ 地区名	阿須那、口羽	◆ 主要推進組織	はすみ会議
◆ 市町村担当課	邑南町役場羽須美支所地域振興係	◆ 県地区担当課	西部県民C石東地域振興課

◆ 具体的な取組状況						
取組内容	R6年度までの到達目標	R2年度の実施内容	R3年度の実施内容とスケジュール	進捗状況	目標達成に向けた課題	課題への対応策
				県の支援内容		県の支援予定
羽須美地域の計画策定	<ul style="list-style-type: none"> 羽須美地域小さな拠点づくり計画の策定 住民ニーズをより詳細に把握し、地域課題解決に向けた方策を計画に落とし込む。 計画を全住民で共有し、活動参画の意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はすみの村づくり計画」が策定でき、かつ、令和3年度からの取り組み実践に向けた住民の共通認識を得ることができた。 WSを重ねることにより住民の中での問題意識が高まり、阿須那地区においても「あすな地区応援隊」が設立した。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な住民WS等による計画遂行の進捗管理 (6、10月) 			
デマンド交通の充実と買い物拠点づくり <ul style="list-style-type: none"> 阿須那、口羽両地区にバスターミナルを備えた交通拠点の整備。 燃料の安定的な確保に向け、阿須那給油所の委託業務を継承 デマンド交通の利便性向上に向けた予約・配車システムの開発と、荷物や食事の配達等の貨客混載の仕組みの検討 民間企業と連携したINAKAコンビニ型ホームセンターの開設と、デマンド拠点におけるネット通販代行サービス等による買い物支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交通の運用を効率化し、他地域へのアクセスを持続的に確保 デマンド交通の利用者数 【(R2)120 → (R6)200】 R2.5末時点131名 INAKAコンビニ型ホームセンター開設数 【(R6) 2か所】 	<ul style="list-style-type: none"> バスターミナルの位置について、「はすみの村づくり計画」中のゾーニングに提示でき、令和3年度の位置・機能等の住民話し合いにつなげることができた。 デマンド交通の予約・配車システムの構築が順調に進み、WEB上のデモンストレーションページが作成できた。 連携先企業との協議により、「日用品等のネット販売代行サービスの窓口」を設けカタログ注文で行う「取り寄せサービス」の実証実験をR3年度に行うこととなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民WS等を通じてデマンド拠点の基本構想を確立する 予約・配車・決済システムを開発し、運用を開始する。(6月～) 貨客混載システムの導入も検討(9～3月) (株)ジュンテンドーと連携し「INAKAコンビニ型ホームセンター(仮)」開設のための実証実験を行う(10月～) 			
困りごと解決サービスの実施体制構築	<ul style="list-style-type: none"> 支障木を活用した小型木質バイオマス施設の導入 阿須那・口羽地区それぞれに高齢者の滞在拠点を整備し、入浴・食事サービスの実施 除草、除雪等の家の周辺環境を維持する出張サービスの実施 高齢者の活動場所として、鳥獣害対策を施した協働農園を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活支援サービスを実施する体制を整え、安心して暮らし続けることができる仕組みを構築 生活支援などに対する相談対応件数 【(R6) 40件/年】 	<ul style="list-style-type: none"> WSを実施する中で住民のニーズを把握することができたため、今後は実際に運営する団体の体制整備を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査結果を分析(6～8月) 運営団体の体制整備(4～9月) 		

関係人口の発掘と相談体制構築	・羽須美地域住民と出身者を対象に行事予定やボランティア募集情報などを掲載した「はすみ新聞」を発行	・関係人口が地域住民と協働して課題解決に取り組む地域の実現 ・関係人口(はすみ新聞送付先)数【(R6) 500件】	・「はすみ新聞」を2回発行し、送付先として26名が確保できた。	・年3回程度新聞を発行し関係人口をリスト化する(9、12、3月)		
	・出身者が集う「ふるさと懇談会」を開催		・コロナ渦により人を集めたイベントが実施できなかったが、それに代わり「羽須美の現在を紹介する小冊子」を作成し、出身者へ送付した。	・懇談会開催		
	・地域住民が主体となつて行う生活機能確保に向けた課題解決につながる提案に補助金交付		・4件の事業を採択し、ある事業においては5人前後が毎活動参加するなど一定の関係人口を確保することができた。	・補助金交付(随時)		
	・空き家活用に関する相談窓口の設置、講習会・個別相談会等の実施		・空き家相談窓口を開設した。また、上記で作成した「羽須美の現在を紹介する小冊子」において、空き家活用事例を取材・紹介記事を掲載した。	・空き家調査 ・相談窓口運営		
自治の機能の在り	・自治会や地域諸団体の実情を把握し、人口減少する中でも持続可能な体制を構築し基本方針を策定	・団体・役職の見直し等で地域づくりへの負担感を軽減し、若者世代が活動参加し易い地域をつくる ・基本方針を作成し、羽須美地域全域で地域の将来を検討できる体制を構築	・住民WS等を通じて課題として共通認識を得ることができたため、今後は各自治体の実態調査を基に見直しについて検討する。	・団体、役員の実態調査(7月～)		

◆ 活動写真

◆ その他の取組

(阿須那地区)
○ 邑南町地区別戦略実現事業(H27～R1)
・実施団体: YUTAかプロジェクト
○ 公民館課題解決支援事業(R1)
・「生きる力を育てる～故郷に心を寄せる人材育成 地域の中のもう一人の家族になろう～」事業の取り組みあり。
○ 総務省関係人口創出・拡大事業(H30～R2)
・総務省事業により関係人口創出の取り組み。複数年の補助事業。
・R1年度は「おおなんDIY木の学校」を実施。
○ カフェうづい通信部
・旧服部医院を再活用する会により、医院を改装したカフェを開設(2020春)。
○ INAKAイルミ2020
・旧JR三江線宇都井駅で行われるイルミネーションイベント。R2年度は11月28日にオンライン配信で実施。

(口羽地区)
○ 邑南町地区別戦略実現事業(H27～R1)
・実施団体: LLP口羽をてごおする会
○ 花桃まつり
・「天国に一番近い里」と知られる川角集落に、2000本の花桃が植えられている。毎年春の開花時期に「花桃まつり」が催される。